

日本建築学会奨励賞を受賞

榎井・工学部専任講師



榎井 健 工学部専任講師

工学部建築学科の榎井健専任講師が、論文「繰り返し水平載荷を受ける立体骨組の対称限界および構面内挙動限界解析法」の業績により二〇〇三年日本建築学会奨励賞を受賞された。

同論文は、大地震等による繰り返し水平力が作用する際の建築立体骨組が呈する挙動における新たな臨界現象を見いだすとともに、その発生条件を厳密に予測することができる解析法を展開したものである。この度の受賞は、建築構造学に関するその優れた獨創性・萌芽性・将来性が評価されたものである。

賞の贈呈式は、九月五日に、二〇〇三年度日本建築学会大会の主会場である中部大学(愛知県春日井市)で行われる。

日本建築学会奨励賞を受賞

梶井・工学部専任講師



梶井 健 工学部専任講師

工学部建築学科の梶井健専任講師が、論文「繰り返し水平載荷を受ける立体骨組の対称限界および橋面内挙動限界解析法」の業績により二〇〇三年日本建築学会奨励賞を受賞された。

同論文は、大地震等による繰り返し水平力が作用する際の建築立体骨組が呈する挙動における新たな臨界現象を見いだすとともに、その発生条件を厳密に予測することができる解析法を展開したものである。この度の受賞は、建築構造学に関するその優れた獨創性・萌芽性・将来性が評価されたものである。

賞の贈呈式は、九月五日に、二〇〇三年度日本建築学会大会の主会場である中部大学(愛知県春日井市)で行われる。

第 308 号

平成15年(2003年)5月15日

関西大学通信

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

日本建築学会奨励賞を受賞

梶井・工学部専任講師



梶井 健 工学部専任講師

工学部建築学科の梶井健専任講師が、論文「繰り返し水平載荷を受ける立体骨組の対称限界および構面内挙動限界解析法」の業績により二〇〇三年日本建築学会奨励賞を受賞された。

同論文は、大地震等による繰り返し水平力が作用する際の建築立体骨組が呈する挙動における新たな臨界現象を見いだすとともに、その発生条件を厳密に予測することができると解析法を展開したものである。この度の受賞は、建築構造学に関するその優れた獨創性・萌芽性・将来性が評価されたものである。

賞の贈呈式は、九月五日に、二〇〇三年度日本建築学会大会の主会場である中部大学（愛知県春日井市）で行われる。